

EA720YB グラスシクネスチェッカー 取扱説明書

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

◆ 特長

このチェッカーは窓ガラスの厚みとガラス間の空隙を片側から素早く表示します。
空隙のある複層ガラスを分解する必要はありません。
このチェッカーは一般のガラスの厚みと空隙、2つの値を読むことができます。



使用上の注意

- ・極端な温度・湿度の場所に置かないでください。
- ・強い衝撃を加えないでください。
- ・磁石に近づけないでください。
- ・レーザーの電気回路の構成部分を取らないでください。
- ・レーザーを3ヶ月以上使わない時は、電池を取り外してください。
- ・直接目にレーザーを当てないでください。
- ・子供の手の届かない所に保管してください。

◆ 各部の名称・機能

A スケール「ガラスの厚み測定」

- ・このスケールは空隙のあるガラス、機能ガラス、複層ガラスの一枚の厚みを表します。
- ・ラミネートガラスあるいは、樹脂入りガラス、断熱ガラス、太陽光を防ぐガラスの被膜側からも測定できます。

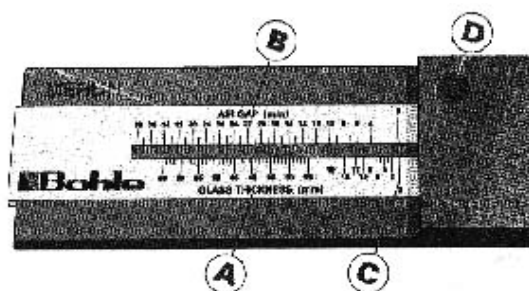
B スケール「空隙を測定」

- ・このスケールは二重、三重ガラスの空隙を測定します。
- Aスケールに関連して、全体の厚みが簡単に測れます。

C ゼロライン

- ゼロラインは、すべての測定の基準になります。

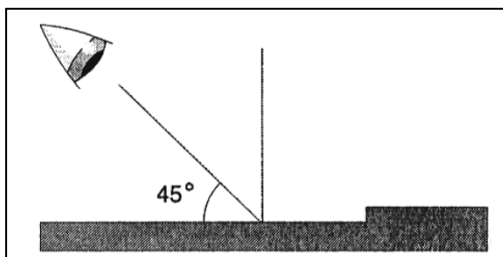
D レーザーを出すボタン



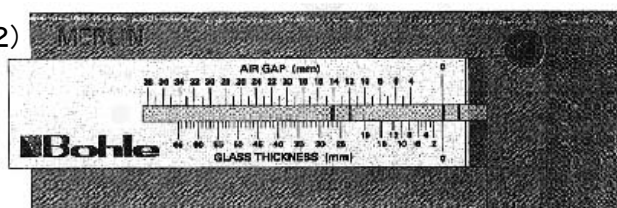
◆ 使用方法

- ・どんなタイプのガラスを測る時でも、ガラスにぴったりとつけてください。
- ・二重あるいは三重の空隙のあるガラスを測定する時、ガラスのサイズやエア圧力によって空隙が中央に偏向するかもしれないので、フレームの近くで測定してください。
- ・ボタンを押し、レーザーを発射させてください。
- ・目盛を鮮明に読むために約45°の角度で見てください。(図1参照)

(図1)



(図2)



◆ 測定例(2×4mm フロートガラス 空隙12mm)

- ・表面をクリーニングしたガラスの上にチェッカーを置きます。
- ・スケールを完全に右側にスライドさせます。
- ・ゼロラインは最初のレーザーラインと一直線になります。
- ・スケールAにおいて2番目のレーザーが最初のガラスの厚み(4mm)を示します。
- ・ゼロラインを2番目のレーザーラインの所にスライドさせます。(図2参照)
- ・次に続いているレーザーラインが上のスケールBで空隙(12mm)を示します。
- ・ゼロラインを前に空隙を示したレーザーラインと一直線にするために、再度左側に滑らせます。
- ・下段のスケールA“GLASS THICKNESS”で2番目のガラスの厚み(4mm)を読み取れます。
- ・ガラス全体の厚みを出すために、全ての測定値を足してください。

◆ 様々なガラスの測定

レーザーラインの量や強さはガラスの構成を示します。

- ・ 1枚ガラス…2つのレーザーラインが見えます。
- ・ 1枚ガラスでコーティング済…一方が他方より明るく2つのレーザーラインが見えます。
明るいラインがガラスの厚みを示します。
- ・ 複層ガラス(2層)…4つのレーザーラインが見えます。
- ・ 複層ガラス(3層)…6つのレーザーラインが見えます。
- ・ ラミネート安全ガラス/防音ガラス
 - 1枚中間膜(PVB)の2層タイプ…3つのレーザーラインが見え、
1つが他より弱く中間膜を示します。
 - 複数中間膜(PVB)の2層タイプ…4つのレーザーラインが見え、
2つが他より弱く中間膜の厚みを示します。
 - 流し込み樹脂の2層タイプ…4つのレーザーラインが見え、
2つが他より弱く樹脂の厚みを示します。
 - 異なった厚みの中間膜の2層タイプ…それぞれのガラスによりますが、
ガラス、中間膜そして樹脂の厚みを示します。

◆ 電池交換

カバープレートのネジを外し、電池を交換してください。
電池はボタン電池(SR44)を使用してください。

◆ メンテナンス

レーザーは、最小限のメンテナンスが必要です。
スライディングスケールは時々拭いてください。
柔らかく、適度に湿った布で拭くのがベストです。